

# 徳増きよ子の流山市議会報告



日本共産党  
流山東部  
後援会

## ニュースわかば

部内資料  
発行責任者  
竹内和男

Tel・fax: 7143-3086

新しい視点 展望しめす  
**しんぶん 赤旗**  
日刊紙 ● 月3,400円  
日曜版 ● 月 800円

安倍首相は12日、現行5%の消費税率を消費増税関連法に沿って来年4月から8%に引き上げる意向を固めました。  
一方、労働者の賃金は連続して下がり続け、家計の悪化が深刻な状態にあります。

「ニュースわかば」  
読者のみなさまへお願い!

消費増税の実施中止を求める署名(同封)にご協力ください  
・この署名は9月27日の第一次国会請願要請行動で提出いたします  
・徳増きよ子事務所へお電話ください。お宅にいただきにうかがいます  
・消費増税の実施中止を求める一点で共同をすすめますよう  
・「増税中止」は国民多数の声です  
・選挙後の世論調査でも、増税を予定通りに実施すべきだという意見は2〜3割しかなく、「中止」「先送り」という意見が7〜8割と圧倒的です

していることから変更はしない  
③就学援助費支給要綱の制定について  
・今年度中に整備する

### 国民健康保険について

①国保の都道府県単位広域化はやめ、国庫負担・補助金の増額を国に要求すべきではないか。  
・国に要求はしている

②国保料の市民負担を軽減し、病気の早期発見、早期治療で国保会計の健全化をはかるべきではないか。  
・予防の人間ドックを行って

③流山市の受診率は、平成23年度で44% (千葉県35%)  
・29年度までに60%を目標にする  
・医療費の増加傾向の中で補助の増額を国に要求する

### 放射能対策について

①放射能汚染水が海中に漏れだすなど極めて深刻な事態であり、政府に対し収束宣言の

撤回を求めるべきではないか。

②流山市の放射性焼却灰が手賀沼終末処理場一時保管期限2015年3月までと迫っている。今後の対策について問う。  
・対策会議で計っていく

③柏市、松戸市、我孫子市では内部被ばく検査や甲状腺検査を行っている。流山市でも実施すべきではないか。  
・専門家の話を聞くと市民は安心している  
・流山市では実施しない。

### 防犯灯について

①防犯灯の本来の役目は、夜間不特定多数の人が通行する生活道路で、暗くて通行に支障がある場所や、防犯上不安のある場所に設置される電灯であり、公的配慮によって社会の成員が等しく受けることのできる安定した生活環境というふうを考えるが、市は防犯灯に対しどのように考えているのか。

②LED化すると、地球温暖化(CO2排出量の削減)に貢献するだけでなく、長寿命、

電気料金においてもメリットがある。ただ、流山市がLEDへの変更をすすめた場合、自治会の負担は大きくなる。

③自治会が防犯灯費用の一部を負担しているが、この負担を軽くするため、流山市には、野田市や習志野市のように市直営にする考えはないか。  
・現状を変える考えはない

流山市議会の質議は12日に行われました



困ったら、迷わず 徳増きよ子無料生活相談室へ

生活相談は毎週金曜日 午後1時～4時

日本共産党 流山市議会議員  
徳増きよ子事務所

松ヶ丘2丁目330-144  
電話・Fax: 7144-1753  
議員: 090-8432-3141携帯

### ぐりーんバス路線の拡充について

ぐりーんバスは、南柏駅から松ヶ丘を通り野々下から豊四季駅、おおたかの森駅ルートが開通し便利になりました。12日、市の交通課に、バス路線の拡充について3人で聞き取りに行きました。

結論は、「新ルートは予定されていません」でした。

・南柏―長崎小―生涯学習センター―市役所入口の路線を考えたが、利用度と費用の点で計画を休止しているとのこと

・向小金2〜4丁目及び前ヶ崎南側部分については、実態調査結果報告書(市が昨年9月に行った)を受け取りました。  
市内公共施設の利用は「ほとんど行かない」「数ヶ月に1回」が70%

この地域の移動手段は「徒歩」「自転車」が主流で、目的地は広く点在し、2地点間を結ぶ定路線運行といった交通移動策では地域の需要に適合しない。これ以外の方法を検討しなければならぬ  
以上ご報告です。  
(松ヶ丘) 谷川光江

― 共産党の政策 ―  
・日本共産党は、税制のあり方を「応能負担の原則」に立って改革し、富裕層・大企業優遇制を改めることを提案しています  
・また「消費税に頼らない別の道」を具体的に示しています  
・日本共産党は、この道こそ、社会保障問題、財政危機、経済危機を一体に解決すると確信しています  
・所得が減り続けるなかで、増税を実施したら、暮らしも経済も破壊されます

### この夏、憲法について考えた

毎年8月は、6日広島・9日長崎への原爆投下。それに続き15日の終戦式典行事などがあり平和について思いがたけいまま自民党の「日本国憲法改正草案」（以下草案）なるものが話題になっています。

「日本母親大会」で伊藤塾塾長で弁護士伊藤真さん、「平和のための戦争展」で東京慈恵医科大学教授の小澤隆一さんの憲法についての講演があり参加して学んできました。

草案では、第1章「天皇」のところ、天皇は日本国の元首であり、国旗は日章旗、国歌は君が代、国民は国旗及び国歌を尊重しなければならず、と明記されています。

第9条「戦争の放棄」は「安全保障」の章とし、自衛権を明文化し、国防軍の設置を規定しています。そうして、

第13条「国民の権利及び義務」で国民の個人の「個」が消され「人」になり、「公益及び公の秩序」が加えられ、つまり国家のためにはがまんしろと。

第24条で家族は互いに助け合わなければならないと強調して、

第25条「健康で文化的な最低限度の生活を有する権利」を牽制しています。

第26条「教育に関する権利」では「教育再生」の名のもとに、教育の国家主義、新自由主義の強化が見え隠れしています。

### 小中併設校（小中一貫校）シンポジウム

#### えっ、カリキュラムいじらないで、建設工事に着手するんですか？

流山市共産党主催による「小中一貫校問題」のシンポジウムに参加しました。

講師は和光大学現代人間学部 山本由美さん、パネリストは教育委員会、教職員組合、保護者、小田桐市議が出席しました。まず講師の山本由美さんから平成27年4月開校をめざす小中一貫校について、疑問・問題提起がありました。

#### 講師

・全国では教育学者が関わりカリキュラムが先にある。流山はカリキュラムが具体化されていなくて、教育の中身が見えにくい。

・1、500人規模という全国1〜2位の大規模校であり、よりきめ細やかな指導や教育活動が行えるとしているが、規模と教育学的根拠はない。

・導入については、120億以上の資源の集中であり、流山市の条例の規定にも関わらず、住民投票を回避している。

・施設に集中したアンケート実施（自治会長、学校評議員、PTA役員、教職員310名）教育実践、教育活動、小中一貫教育のカリキュラムについて問わないのか等々。

—パネリスト—

・5〜6年期は自信を持つ時期であり、背中を押してあげる連携（小中間、地域、ボランティア）が重要。

・授業についていけない子がおきざりにされないか。

・市民の税金を老朽化した校舎（築40年を超える学校9校）に使う等有効に使って欲しい。

・学校間の格差ができるのではないか。

・困っている子を大事にし、子どもたちに生きる力をつけていくために、学校に関心をもち、現場を変える活動が大切。

—参加者—

・長男の卒業式で胸がいっぱいになった。子どもを真ん中にして、教師、地域、親が子どもを語る良さが大規模校で作れるのか。

・共産党のアンケートを市は評価していたが、小中併設校の建設には反対が多い。市はアンケートを生かすのか等々。

—私には—

私には、建物を作る前に、市・教師・子・親・地域が話し合う事が沢山あると思います。小中一貫校全体の教育計画が具体的になくて、施設の説明がほとんどでは、子どもにとってプラスかマイナスかわかりません。

・親子で感動し中学への飛躍となる卒業式はなくなってしまうのでしょうか。

・家族・地域ぐるみで楽しんで運動会は、できなくなるのでしょうか。

・他に様々な学校行事は、大規模校でスムーズに出来るのでしょうか。

・先生方は益々忙しくて子どもに関わる時間が、減るのではないのでしょうか。

（松ヶ丘） 横田記代

さらに第28条「勤労者の団結権」で公務員の労働基本権の制限も可能になります。

第96条で憲法改定を、現在の3分の2の議員の賛成を、過半数で出来ることし、

第97条「基本的人権の永久権利」を全面削除し草案では「すべて国民はこの憲法を尊重しなければならない」としています。

ちょっと待って！

国民は法律を守って生きています。憲法は権力者を縛るものだと習いました。平和のなかにこっそり企まれている『悪』を私たちは見逃さず見張っていかなくてはと思います。

（前ヶ崎） 若山とし子

・5〜6年期は自信を持つ時期であり、背中を押してあげる連携（小中間、地域、ボランティア）が重要。

・授業についていけない子がおきざりにされないか。

・市民の税金を老朽化した校舎（築40年を超える学校9校）に使う等有効に使って欲しい。

・学校間の格差ができるのではないか。

・困っている子を大事にし、子どもたちに生きる力をつけていくために、学校に関心をもち、現場を変える活動が大切。

—参加者—

・長男の卒業式で胸がいっぱいになった。子どもを真ん中にして、教師、地域、親が子どもを語る良さが大規模校で作れるのか。

・共産党のアンケートを市は評価していたが、小中併設校の建設には反対が多い。市はアンケートを生かすのか等々。

—私には—

私には、建物を作る前に、市・教師・子・親・地域が話し合う事が沢山あると思います。小中一貫校全体の教育計画が具体的になくて、施設の説明がほとんどでは、子どもにとってプラスかマイナスかわかりません。

・親子で感動し中学への飛躍となる卒業式はなくなってしまうのでしょうか。

・家族・地域ぐるみで楽しんで運動会は、できなくなるのでしょうか。

・他に様々な学校行事は、大規模校でスムーズに出来るのでしょうか。

・先生方は益々忙しくて子どもに関わる時間が、減るのではないのでしょうか。

（松ヶ丘） 横田記代

### 映画案内



### 雨月物語

1953年 大映京都 監督：溝口健二

日本を代表する上田秋成の幻想文学を、日本を代表する映画人によって映画化した作品です。

脚本：依田義賢、撮影：宮川一夫、音楽：早坂文雄の豪華スタッフに、森雅之、京マチ子、田中絹代などが、戦国時代の混乱時に、人間の欲望と愛情をきめ細かく描いています。

（松ヶ丘） 北村真平

妖しいまでの京マチ子演じる亡者の霊も、ただ一度の恋愛さえも許されず戦乱に消えた哀れさをさそい、最後まで夫と子供の無事を祈る田中絹代に、溝口監督の日本の女の姿を、幻想作品でありながら、しっかりと描かれているのに驚かされます。数ある溝口作品の中でも、特に情緒にあふれた、世界中で愛された魅力的な作品です。忘れられた日本の心がそこにあるようです。

53年ヴェネチア国際映画祭銀獅子賞をはじめ数々の受賞に輝いた作品です。

東葛健康友の会  
なつかしの映画鑑賞会  
月日：9月21日（土）  
時間：12時30分  
会場：東葛病院7階  
参加費：300円

### 健康相談会のご案内

—新しい東葛病院の建設に向けて—  
どんな建物なの  
いつオープンするの  
送迎バスは？  
お話のあと「簡単なストレッチ体操」  
で体をのばしましょう！

- ・日時：9月27日（金）午後1時～2時30分
- ・会場：東部公民館 第2会議室
- ・講師：加川豊（東葛病院建設委員）
- ・体操：リハビリ担当技士
- ・参加費：無料
- ・主催：東葛健康友の会 流山市東部地域

（向小金） 高橋光  
高橋さんは東葛健康守る会の幹事をしておられます  
（編集部）